

平成30年度 上田市立城下小学校 学校自己評価シート 関係者評価

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった [評価が多いもの…◎ 評価がやや多いもの…○]

学校教育目標	めざす子どもの姿
まなび きたえ ともにのびる子	<ul style="list-style-type: none"> <li>友の話を聞き、自分の考えを伝え合い学びを深めようとする子</li> <li>心と体の健康を考え、進んできたえようとする子</li> <li>互いに支え合い、思いやりの心を 育もうとする子</li> </ul> <p>【30年度の重点目標】 《指導の基盤になる集団の育成》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり</li> <li>お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり</li> <li>ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり</li> </ol>

総合評価	
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びを深め、心と体を鍛えるためには継続することが大事だと思う。学校として何か一つのこと（マラソン、リコーダー等）に継続して取り組むと特色が出る。</li> <li>児童および保護者アンケート結果のグラフ化で、今後の課題が一目瞭然となり良かった。学校が「めざす子どもの姿」の目標に向かう姿勢や努力が、様々な教育現場において成果をあげていて保護者や児童の信頼が高いことが伺えた。一方で、目標とグラフに見られる低い部分が重なることから、達成の困難さを感じるとともに、重点課題として取り組む必要を感じる。</li> <li>明るくのびのびした雰囲気があり、廊下や教室に展示されている作品には、「みんなと違っていいんだ」という個性が感じられた。学校や社会のルールを守って認め合うことのできる学校教育がされている。多くの体験を通して「まなび、きたえ、ともにのびる子」に育つように一層の指導を望む。</li> <li>授業参観の時に、ある学級の先生は全員が揃うのをじっと待っていた。時間はかかったが、一人一人を大切にしようとする先生方の姿が見えてきた。学校内のみならず、家庭での生活にもアンテナを高くして、子どもの安定した姿を見守っていただきたい。</li> <li>児童、保護者アンケートの結果では、子どもの素直な心でみて、学校に対して高い評価を得ていると思う。先生と児童の関係は、学校風土の礎になっていると思う。学校へ伺った際に温かい学校とわかるのは素晴らしいと感じる。</li> <li>よりよい学習環境の構築、互いを尊重し合う子の実現に向け、学校全体として努力している姿勢が伺える。</li> </ul>

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	教育課程・学習指導	心の通じ合いを重視した指導の推進	協力して活動する場や互いの良さを認め合える場を設定しながら行事、学級経営、学習指導を進めることができたか。
		授業のユニバーサルデザイン化	どの子にもわかる・できる授業づくり、確かな学力が身につについていく授業づくりができたか。
		学び合いを大事にし、考えを交流する場の設定	国語の読解力、算数の思考力の向上を目指し追究の場でお互いの考えを伝え合い、話し合う学習活動を設定しているか。
		家庭学習の充実	家庭学習のてびきを活用し、日頃の学習指導と連携させて家庭学習の習慣化がはかれたか。

関係者の感想・要望		
◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の児童数によってフォローに差が出てしまう。全教職員で助け合える体制を望む。</li> <li>高学年になると、その協力、実践の必要がわかる授業がなされていた。</li> <li>音楽会や運動会での集団のまとまりを見ると、成果がよく出ていた。</li> <li>先生のサポートでまとまっている。PTAも協力的で城下小学校が一丸となり、地域に根づいていると感じる。</li> <li>協力しての活動や互いの尊重は、集団として取り組む貴重な学校教育である。今後も協力し合える雰囲気づくりが重要である。</li> </ul>
○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な子どもたちがいる中で、学力の定着が図られているように見える。</li> <li>低学年では「どうしてなのか、なぜ」の授業が行われていた。子どもの力には違いがあるが、しっかりと受け入れられていると感じた。</li> <li>「学校が楽しい」という子どもの声を毎日聞いている。今の時代に合った学習が取り入れられていて感心する。</li> <li>高学年になるほど個人差が生じるので、学習進度に応じてのグループ学習や個別指導が有用だと思う。</li> <li>機器を活用して学習を進める努力が伺える。</li> </ul>
◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発表の場や言葉で伝える機会がもう少しあれば伸びると思う。</li> <li>グループ学習によって意見が出せていた。考え、話し合うことで、低学年も低学年なりに話を聞き、意見も言えていた。高学年はリーダーシップを感じた。</li> <li>全国学力学習状況の結果を見ると、進歩の状況が伺える。</li> <li>地域の方の協力や支援の先生方のサポートのおかげでしっかりと学習体制ができていていると感じる。</li> <li>全員参加による考えの交流が必要である。</li> </ul>
○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベースとなる宿題量は適切だと思う。</li> <li>児童、保護者アンケートでは、Cの評価もあるので、新しい連絡ノート（紡ぐ）を活用し、自主性の持てる指導を希望する。</li> <li>手引きの活用については充分ではないが、家庭学習は習慣化されている。</li> <li>「紡ぐ」の使用で学年ごと統一された物があり、とても良い。きちんと書くことで家庭での子どもとのやり取りもスムーズだし、先生との連絡も前よりしっかりできる。</li> <li>子どものたちの学力向上を図る上で、授業と家庭学習は両輪である。家庭学習の習慣化が引き続き必要と考える。</li> </ul>

生徒指導	明るい挨拶や返事の励行	進んで行う挨拶や気持ちよい返事を繰り返し指導し、教師が実践することで、子ども達に広がっていったか。	◎ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での子どもたちは、元気で明るい様子が見られる。家庭や地域での挨拶は大人の役目と思う。</li> <li>・気張らないで自然な挨拶ができています。</li> <li>・挨拶をする子しない子は当然いる。また、先生の中でも大きな声で挨拶する先生としない先生がいる。まずは小さな声でも校舎で会った人に対して挨拶する心がけが大切だと思う。</li> <li>・先生方の自然な挨拶や声かけが足りない。改善してほしい。</li> <li>・挨拶と返事ができている。来校者への挨拶が自分からできる児童が増えることを期待する。</li> </ul>
	生活規範意識の育成 (基本的な生活の ルールの確立)	集団生活のきまりや約束に関する日常的な指導を進めたか。(遊びの約束事の徹底、安全な廊下歩行、授業を受けるルールの指導、無言清掃の取り組みに向けた指導等)規則正しい生活習慣が身につけてきたか。	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびとした生活の中にも「やる時はやる」という集団の中でのルールは、学年が上がるごとにできていると授業参観で感じた。</li> <li>・低学年でも他者への思いやりがみられた。お互いに関心と協力が持てるような取組を望む。</li> <li>・参観日で無言清掃の取組を見た。「すばらしい」の一言。廊下を走る子どもも少なくなったと感じる。</li> <li>・平日頃の先生方の指導の賜物と感謝する。</li> <li>・児童同士による自発的な取組になると効果的である。</li> <li>・遊びについての約束は、よく浸透していると思う。自分も「ルールを守る子」「あいさつできた子」をほめようと心がけている。</li> </ul>
	いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み (温かな人間関係)	自他の良さを認める場の設定や日常的な人権同和教育、自己有能感を高める教育活動を行うことができたか。 子ども達の様子に目を配り、友達関係や実態をつかみきめ細やかな保護者との連絡を心がけることができたか。	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、不登校と共に家庭での子どもの様子は学年が上がるにつれて見えづらくなっていく。学校全体で連絡を密にし、子どものちょっとした変化や「アレッ」と思った疑問等を見逃さないようにしていくことが大切。家庭における児童虐待は、身近な問題だと思われる。</li> <li>・30人以上の学級担任は大変だと思うが最低限のフォローはできていると感じる。</li> <li>・児童アンケートのD評価の子どもが気になる。少数だがその子たちへの関わりを望む。家庭や友だち関係で楽しく思える生活ができるような日常を希望する。</li> <li>・毎年参観日で行われる、人権教育の授業の内容が良い。</li> <li>・一人一人の子どもに先生方が一生懸命に向き合っていて頂いている。保護者との連携もしっかりとれているが、保護者に対して過剰反応と感じることもある。</li> <li>・トラブルや相談は、学級担任に全て任せるのではなく、校内での協力体制や情報交換が必要と考える。</li> </ul>
学校運営	地域との連携	学社融合 地域の方々との交流	◎ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の「見守り」ボランティアを始め、多くの方々の連携がされている。受け入れは大変と思われるが、いつか、地域に戻る子どものために、活動や交流を望む。</li> <li>・読み聞かせグループや公民館などの外部の方との関わりを面倒がらずに子どもたちのために増やしてほしいです。</li> <li>・地域の方に協力して頂いて交流できていることは素晴らしいと思う。“古き良き日本の文化”を今後も伝えていってほしいと思う。</li> <li>・地域の方が様々な形で学校活動に協力いただき感謝。学校と地域に過度な負担がかからないように自主的な取組としていく必要がある。</li> </ul>
	保護者との連携	参観、行事、懇談、環境整備等、保護者の方々の理解や協力を得ながら教育活動を展開しているか。	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートでは、おおた満足されているが、参観や行事参加が諸事情により困難な家庭への取組を願う。</li> <li>・気軽に学校に足を運べる雰囲気ができている。</li> <li>・参観日の内容や懇談会の様子などからみても、先生方と保護者との連携は素晴らしい。</li> <li>・参観日や行事には多くの保護者の参加があり、関心の高さが伺える。学校全体で連携が必要である。</li> <li>・懇談等からのフィードバックがきちんとできると連携がうまくいくと感じる。</li> </ul>
	学校からの情報発信	学校、学年、学級だより、学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報はしっかりとまとめられている。</li> <li>・学校だより「こすもす」は、地域への回覧がされ、地域と共に子どもを育てる試みがされていた。HPにも学年の行事が記載されており、開かれた学校が伺えた。更なる地域資源の活用を期待する。</li> <li>・HPを見るときちんと更新されており良い。学年、学校便りも子どもの様子がわかりやすく記載されている。</li> <li>・教務、校務とも多忙の中、タイムリーな情報発信引き続き必要であると考えます。</li> </ul>
研修	授業づくり研修	国語、算数、道徳の授業研究会や一人一公開授業を通して、自らの課題に向けて授業改善を進められたか。	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開は、授業改善を進める上で非常に有効な手段である。</li> <li>・参観時には、各クラスの取組が異なり工夫がみられました。公開授業をされることは大変だと思うが振り返りもして改善へ繋がっているようである。課題に向けての一層の力を期待する。</li> <li>・普段はなかなか学校へ来れない父親も子どもの学習風景を見て、今の小学生の学習レベルを知り、家庭内での教え方の参考にしている。</li> </ul>